

令和5年度TST放送番組審議会

1. 日時：令和6年3月25日（月） 10時～12時
2. 場所：となみ衛星通信テレビ 2階研修室

3. 出席委員（順不同）

会 長	広橋 里志	砺波市文化会館館長
副会長	宮窪 大作	宮窪建設代表、金屋石を語る会
委 員	林 紀代美	女声合唱団コール麗
委 員	山崎 匠	となみ青年会議所前理事長、(株)山崎組取締役
委 員	布袋 泰博	南砺市消防団福野分団長
委 員	種部 祥太	南砺市商工会青年部副部長
委 員	藤田 節子	カメラ友の会代表

欠席委員

委 員	森井 勇真	上平青年団長
-----	-------	--------

4. 審議番組

- ①ぐるっとなみ野ウィークリー（令和6年2月19日週放送）
- ②となみ野あれこれ探検隊「弁財天社の御開帳大祭」
- ③壮観劇場「#28 散居村と赤・白・黄色」

5. 主な意見

◇審議番組について

①ぐるっとなみ野ウィークリー

- ・高校生の活躍など子どもたちの活躍、高齢者の行事など広い年齢層が出演していた。
- ・ニュースに特化した番組になり、良かった。分かりやすくなった。
- ・ニュースの尺が長いので、短くしてニュースの数を増やしてはどうか。
- ・ニュースの順番はどのように決定しているのか。
- ・番組冒頭、高校生の話題で引き付けられた。
- ・スキー大会の話題、時間をかけて撮影し、分かりやすく丁寧に紹介していた。
- ・義援金寄附の話題、企業側にも配慮された構成だった。
- ・市長との懇談会の話題、質問に対する回答をテロップで紹介していたらなお良かった。

②となみ野あれこれ探検隊「弁財天社の御開帳大祭」

- ・33年に一度の貴重な行事を見ることができた。内容的にも良かった。
- ・探検隊の恰好をして進行するのがよかったし、親しみやすく感じた。
- ・楽しみながら見られて、地域の歴史も知ることができた。
- ・地域のことを深掘して紹介している。若い人に将来的に地元に戻ってきてもらうためにもこういった内容の番組が大切。
- ・MCの明るい声と衣装に引き込まれた。
- ・庄川の歴史を丁寧に発信していたのがよかった。
- ・このような映像をしっかりと保管してほしい。
- ・エリア内の小中学生にも知って欲しい。授業の一環として取り入れてもらってはどうか。教材として活かしてもらえないか。

③壮観劇場「#28 散居村と赤・白・黄色」

- ・ドローン映像がふんだんに使われていて、平面的ではなく立体的な広がりを感じた。
- ・ナレーターが民放放送でも活躍している方で「聞きたい、見たい」と感じさせた。
- ・ケーブルテレビの番組とは思えないほどのクオリティだった。とても感動した。
- ・重厚な演出で、見応えがあった。
- ・迫力ある映像とナレーションに心をつかまれた。
- ・翻訳版を制作して、海外へも発信してほしい。
- ・いろんな場面があり、テンポが速く感じた。
一つの場面をより詳しく紹介しても良かったのでは。

◇その他の要望・意見など

- ・クラブチームのイメージを親しみやすいものにしてもらいたい。
- ・中学校の部活動を取り上げてほしい。
- ・「スポ卵」について、スポーツだけでなく文化部も取り上げてほしい。
(ミュージカルキッズ、郷土芸能部、子供歌舞伎など)
- ・「ロコテレ」の存在を知らなかった。いつでもどこでも見られるというのは便利。
- ・エリア内の隠れた技能、特技などを持っている人を発掘して欲しい。
- ・検討中の古民家の番組について、改築されていく様子を見ることができたら面白い。
- ・これまでのチャンネルガイド誌は全ページを見ることは少なかったが、リニューアルされた新しいものは「地域情報誌」の印象があり、若い人が興味を持ちやすい。
- ・表紙にはインパクトが大切。
- ・チャンネルガイド誌にQRコードが付いていて、便利になったと感じる。